

07

ひとを育てる

安心できる教育環境と地域のつながりで未来の人材を育むまちをつくる

挑戦を育てる学びのコミュニティ

地域や環境、産業などを創り出し、守り伝えていく主体は「ひと」です。

邑南町では、「ひとを育てる」という柱に対して6つのテーマで取り組みます。



I. 地域社会で共に育てる「子育ち環境」の向上

邑南町で育ち学ぶ子どもたちが、安心して過ごし発言できるよう「安心領域づくり」を推進します。

○ 妊娠期からの切れ目のない支援体制の充実

誰もが安心して子育てに向き合える環境づくりの実現を目指し、「子どもまるごと相談室」を中心に妊娠期前後からの切れ目のない相談・支援体制を充実させます。

○ 愛着形成の促進と豊かな遊びと体験機会の充実

乳幼児期は基本的な生活習慣や人格形成の基盤をつくる大切な時期であり、愛着形成は、身近な大人が子どもの気持ちを繰り返し受け止め、寄り添うことで獲得される安心の土台となります。様々な体験や遊びを通じて豊かな心を育み、親子の関係づくりを支援し愛着形成を促進します。

○ 幼児期の教育・保育の充実

幼児教育は、子どもが自ら興味・関心を持って環境（ひと・もの・こと）に関わり、遊びに没頭する中で試行錯誤を繰り返し、様々な力を身に付けていきます。小・中・高等学校教育へのつながりを見据え、幼児期の終わりまでに育って欲しい姿を考慮し教育・保育の充実に努めます。

自分たちにもできることを考えてみよう!



目標・指標	現状値	目標値
① 自分のことを好ましく感じる	33%	50%
② 地域社会や誰かの役に立てていると感じる	20%	40%

II. 幼少期からの健康づくりで心も身体も大事にケア

一人ひとりの健康づくりの推進、自身を愛し大切にするこころを育てます。

○ 総合的な食育の推進

邑南町で生産・収穫される食材を用いた食育の推進に取り組み、健康的な食習慣の形成、地域の食文化と農林水産業の結びつきの強化を図ります。

○生涯を通じた健康施策の推進

各ライフステージに応じて、健康診査・検診体制を整備し、健康づくりを推進します。また、子どもや若者が将来の自己実現に向かって、ライフプランを考え、日々の生活や健康に向き合えるようプレコンセプションケアを推進していきます。

○ スポーツを通じた健康増進の取り組みを推進

スポーツを通じた健康増進等の取り組みについての周知を図り、誰もがスポーツにふれられる環境づくりを推進します。

自分たちにもできることを考えてみよう!



プレコンセプションケアとは...性別を問わず、適切な時期に性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン（将来設計）や将来の健康を考えて健康管理を行うことを指します

目標・指標	現状値	目標値
① 身体的に健康である	53%	65%
② 精神的に健康である	56%	65%
③ 色々なスポーツに関われる機会がしっかりとある	-	50%

III. 学校・家庭・地域が一体となった「おおなん学」の推進

地域の大人とふれあい、交流することで、地域の中で挑戦しやすい雰囲気を醸成します。

○「おおなん学」の確立・推進

学校・家庭・地域が一体となって取り組むふるさと教育「おおなん学」を確立・推進します。邑南町のことを深く知り、地域の中で様々な体験を重ねることで、その後のキャリア教育にもつなげていきます。

○子どものロールモデル・マッチング

邑南町で暮らす様々な方々の生き方、価値観等を分かりやすく子どもたちに示し、「こんな大人になりたい」と思える大人との出会いを創出することによって、自分の生き方について考えるきっかけを提供します。

○子どもが安心して過ごせる環境づくり

子どもの権利を守り、安心できる学校や第三の居場所を整備して「大切にされている」と実感できる環境をつくります。また、特別な支援が必要な子には、乳児期から就労まで切れ目ないサポートを行い、一人ひとりに寄り添います。

○町の自然・文化の研究と発信

ハンザケ自然館・郷土館・久喜銀山等は、町の自然や文化を学べる拠点です。また、町内には多くの神楽団があり伝統芸能を継承しています。これらの価値や魅力を広く発信し、共有することで将来にわたって保存・活用することができる環境の整備を目指します。



ロールモデル・マッチングとは... 教育におけるロールモデル・マッチングは、子どもが自分の将来の夢や興味関心に近い「憧れの人」と出会い、対話や活動を共にする機会を得るための仕組みであり、学習意欲の向上や社会的スキルの発達、自己効力感の向上などの効果が期待されると言われています。

目標・指標	現状値	目標値
① 子どもたちがいきいきと暮らせる	26%	40%
② 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	16%	30%

自分たちにもできることを考えてみよう!



関連コラム掲載スペース

IV. 邑南町の教育にあった学校の在り方の研究・実現

町の規模に応じた「学びの選択肢」を充実させることで、それぞれのステージでの主体的な学びを推進します。

○ 矢上高校・石見養護学校の魅力化推進

矢上高校・石見養護学校の魅力化を推進する取り組みを支援し、邑南町における中等教育の充実に努めます。

○ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

学びのニーズが多様化し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が求められる中、研修等を通じて教師のスキル向上に努めます。

○ 多様な学びの選択肢の確保・充実

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を推進し、学校の特性を最大限に活かした多様で魅力ある教育を展開します。これにより、全ての児童に質の高い教育環境を確保できるよう努めます。

自分たちにもできることを考えてみよう!



目標・指標	現状値	目標値
① 小学校の通学のしやすさ	26%	40%
② 学びたいことを学べる機会がある	16%	30%
③ 町内中学生の矢上高校オープンスクール参加割合		

V. 地域での活躍を後押し—邑南町の未来を描く学び

大人の挑戦を後押しするため、多様な分野の人と情報をつなぐ結節機能を実現し、新たな価値を生み出す起業家精神を持った人材育成等に取り組みます。

○ 地域におけるデジタル人材の育成・確保の推進

急速な進化をとげるAI等のデジタルテクノロジーを正しく理解し、活用できる人材の育成・確保に努めます。

○ 各種コーディネーターのネットワークづくり

様々な分野に配置されているコーディネーター（つなぎ役）同士の連携、ネットワークづくりにより、分野を超えた連携の基盤を整えます。

○ 町内外の人材還流促進

アントレプレナーシップ教育プログラムの推進等により、邑南町出身者だけでなく、地域みらい留学生（高校生）や地域おこし協力隊員等の人材還流促進に取り組みます。

自分たちにもできることを考えてみよう!



アントレプレナーシップ教育とは...アントレプレナーシップ教育とは、社会課題を見つけ、自ら考え行動し、他者と協働して新しい価値を創造する力（起業家精神・資質・能力）を育む教育です。

目標・指標	現状値	目標値
① 学びたいことを学べる機会がある	13%	20%
② 地域おこし協力隊等の制度を活用した移住者数	00人	00人

VI. 公民館エリアの地域資源を生かした教育の充実

大人の学び直しも含め、子どもから大人まで幅広く地域社会をフィールドとした「学び」を享受できる環境を整備します。

○ 公民館等を生かした社会教育の充実

かねてより評価の高い公民館を中心とした社会教育・生涯学習の取り組みをさらに充実させ、「地域運営組織」との連携等にも取り組みます。

○ 人権・同和教育の啓発・推進

人権・同和教育等を啓発・推進し、一人ひとりの権利が尊重され、守られる町を目指します。働き方や価値観が多様化し、外国人世帯も増加傾向にある中、多様な人との交流・共生を通じ、文化の違いを超えてお互いを尊重する気持ちを育み、誰もが安心して幸せに暮らせるまちづくりにつなげます。

自分たちにもできることを考えてみよう!



目標・指標	現状値	目標値
① 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	16%	30%
② 地域活動への参加	00人	00人

08

しごとを伸ばす

ブランド化や多様な働き方を支援し、地域を支える産業の高付加価値化を図る 「おおなんブランド」を基盤とした挑戦の促進

町の活力を支えるのは産業であり、「しごと」です。
邑南町では、働く人を大切にすることなど8つのテーマで取り組みます。



08

しごとを伸ばす

I. テクノロジーを活用した持続可能な農林水産業

高齢化や人口減少に伴う担い手不足などの課題をテクノロジーの活用で補う効率的な経営、農林水産業の振興を推進します。

○ 農林水産業のスマート化を推進

若い世代の新規就業を促進し、効率的な一次産業経営実現のため、テクノロジーの更なる活用・推進に取り組みます。

○ 担い手の確保・育成

「神紅」の栽培を入口とした新規就農者の増加を踏まえ、引き続き農林水産業全体の担い手育成・確保を支援していきます。

○ 高収益作物の導入

「神紅」の栽培を入口とした新規就農者の増加を踏まえ、引き続き農林水産業全体の担い手育成・確保を支援していきます。

○ 地域での農地維持のあり方検討と圃場等整備

地域計画を踏まえた地域との話し合いを通じて、効率的な農業経営を可能とする圃場・水路等の整備を推進し、地域の農業維持のあり方を検討します。



目標・指標	現状値	目標値
① 農業での生産や販売は成果を上げてきていると思う	-	50%
② 圃場整備事業の実施	-	00件

自分たちにもできることを考えてみよう!

戦略的
重点
プロジェクト

関連コラム掲載スペース

08

しごとを伸ばす

II. 豊富な森林資源の有効活用と循環型林業の確立

森林率86.5%と豊富な森林に恵まれている邑南町の森林資源の価値を見直し、多様な観点から山林の活用を推進します。

○ 森林の集約化による森林整備の推進

様々な理由から放置される森林が増加する中、森林管理システム等を活用しながら森林の集約化を図り、効率的かつ適切な森林管理を行うことで森林の多面的機能の発揮につながるよう努めます。

○ 町内産木材利用の促進

豊富な森林・山林資源を有効活用するため、木材製品等の開発や販売促進、バイオマスエネルギーとしての利用を促進し、森林資源の価値を分かりやすく発信していきます。

○ 企業・町民・行政の三者連携による林業DXの推進

林業においても作業効率向上と作業負担軽減のためDX化を推進し、担い手の確保や事業体育成、適切な森林管理・経営の実現に努めます。

自分たちにもできることを考えてみよう!



目標・指標	現状値	目標値
① 林業に関する生産・販売・利用は以前よりも向上してきていると思う	-	50%
② 山林の手入れや利用は充実してきていると思う	-	50%

08

しごとを伸ばす

III. 起業・第二創業等の町内事業者の挑戦を支援

総合的な相談窓口として「おおなん相談所」による支援を展開するなど新規開業・第二創業等の挑戦を応援し、資金調達の不安解消などにも努めます。

○「おおなん相談所」を中心とした事業者支援

「おおなん相談所」を中心とした相談と支援の充実を図り、個人事業主等を中心とした起業や事業承継、第二創業などに対応していきます。

○ 地域内の経済循環の拡大

町内での消費拡大につながる取り組みを支援し、地域内の経済循環の効果を分かりやすく発信していきます。

○ 起業・創業しやすい環境整備支援

空き家・空き店舗等の活用に向けて、貸しオフィスやコワーキングスペース等の整備、利用促進を支援します。

自分たちにもできることを考えてみよう!



目標・指標	現状値	目標値
① 新規創業・第2創業	-	00件
② 事業者満足度	-	00%

08

しごとを伸ばす

IV. 道の駅や農産物直売所を起点に観光による経済波及

道の駅「邑南の里」や農産物直売所を結節点（ハブ）として、町内各地区への観光による経済波及を推進します。

○ 観光情報の多言語対応推進による満足度向上

道の駅「邑南の里」の開業などを経て、今後期待される外国人旅行者向けに、邑南町の魅力を伝える多言語での観光情報発信に努めます。

○ 観光コンテンツの開発

邑南町の自然や文化を体験できる観光ルート開発、滞在時間延長につながるメニュー開発などに取り組むとともに、事業者の主体的なコンテンツ開発等を支援します。

○ 観光DXの推進

クレジットカードやコード決済対応などが進んでいない施設等を対象に、利便性向上と消費者の利用促進につながるキャッシュレス化を推進するとともに、観光に資するデータを蓄積し、関係者間で共有・活用していきます。



自分たちにもできることを考えてみよう!

目標・指標	現状値	目標値
① 多言語対応・発信状況	3言語	6言語
② 観光協会によるツアー催行数	-	00回

08

しごとを伸ばす

V. 邑南町の新たなイメージ戦略とその活用

「〇〇と言えば邑南町」、「邑南町と言えば〇〇」を想起してもらえるような、町としてのイメージを構築・発信することで民間事業者の後方支援につなげます。

○ 「神紅」の産地化とブランド力の向上

島根県オリジナル品種の高級ぶどう「神紅」は、邑南町が県内でも有数の栽培面積を有しており、今後も生産量の増加が見込まれます。引き続き、産地化に向けた施設整備や担い手確保などの取り組みを支援していきます。

○ 邑南町への多様な関わりしろの充実

邑南町としての対外的なイメージ構築・醸成に向けて、新たなシティプロモーションに取り組みます。PR発信だけでなく、事業者、旅行者等のニーズの把握・分析につながる取り組みを支援します。

○ おおなんブランドで新たな産業の創出

多様な分野の事業者・人材・資源をかけ合わせ、町の総力を結集した新たな特産品の開発、ものづくり産業の創出に取り組みます。

自分たちにもできることを考えてみよう!



目標・指標	現状値	目標値
① 邑南町が含まれるポスト数 (X)	1976回	2500回

08

VI. 邑南町の自然を守り・活かす—環境産業の推進

しごとを伸ばす

邑南町の豊かな自然を守る取り組みを進めるとともに、森林資源や地形を活かした環境・エネルギー産業を推進し、人材育成・雇用創出を取り組みます。

○ 森林資源の付加価値化

J-クレジット制度等の活用シミュレーションを行い、森林資源を介した新たな外貨獲得の取り組みについて検討します。

○ エネルギーの地産地消による経済基盤の確立

薪ボイラー・薪ストーブ、太陽光発電等の地域に根ざしたエネルギー活用と地産地消の推進による経済基盤の確立に努めます。

J-クレジットとは...省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO2等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO2の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。クレジットの売却益により、設備費用の一部を回収したり、さらなる省エネ投資に活用することもできます。

自分たちにもできることを考えてみよう!



目標・指標	現状値	目標値
① リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取り組みが盛んである	13%	30%
② 自慢できる自然景観がある	8%	30%

08

しごとを伸ばす

VII. 多様な働き方ニーズを満たし、働くひとを応援

多様なニーズに対応できる仕組みを民間事業者と共に創し、働き手確保に努めます。また、邑南町の企業で働いて良かったと思えるキャリア形成を支援します。

○ 多様な人材の確保

農福連携や外国人雇用、スキマバイトなど多様な人材・働き方ニーズへの対応を推進します。

○ 女性や子育て世代が活躍できる環境づくりを推進

町が認定する女性活躍・子育て応援企業の表彰を通じて、町内事業所における女性活躍・子育て支援の取り組みを推進します。

○ 進出企業会との連携強化・企業誘致

進出企業会との連携により、町内での雇用を維持するとともに、本町への進出に関心を持つ企業に対しての情報発信を強化します。

自分たちにもできることを考えてみよう!



目標・指標	現状値	目標値
① 適切な収入を得るための機会がある	13%	30%
② 挑戦・成長するための機会がある	8%	30%
③ キャリアアップ・資格取得を積極的に応援している	-	30%

VIII. 事業承継・組織連携・人材確保を通じた事業継続支援

事業者間の事業承継や経営統合、JV等の総合事業体設置に向けた検討支援に取り組み、多様な分野での業務遂行体制を確保し雇用の安定化を図ります。

○ 事業継続に向けた人材確保

多様な分野での担い手不足が懸念されており、多様な観点から人材確保に向けた取り組みを推進します。

○ 異業種連携コーディネート機能の強化

農業と福祉の連携などに代表される他分野・異業種間のコーディネート機能を強化し、新たな価値を生み出す事業者間連携につなげます。

○ 農林水産業の後継者確保・育成支援

町内の農林水産業振興に資する人材を育成するための学資援助を引き続き行うとともに、町内農林水産業に関する情報発信・提供に努めます。

自分たちにもできることを考えてみよう!



目標・指標	現状値	目標値
① 自分の仕事に満足している	48.3%	70%
② やりたい仕事を見つけやすい	5.7%	20.5%

09

くらしを守る

生活基盤の整備と環境保全で世代を超えて安心できるまちをつくる 誰もが安心できる心地よいふるさと

安心して暮らしていくためには様々なインフラが整っている必要があります。
人口・世帯の減少を踏まえながら、情報インフラの整備など6つのテーマで取り組みます。



I. 道路網維持と施設の長寿命化でインフラを次代に継承

町内のすべての施設を維持・管理していくことが困難となる中、それぞれの緊急性・重要性を踏まえ、施設の維持・修繕に取り組みます。また、施設の縮減を進める上でも、長寿命化に向けたテクノロジーの活用、最適な配置・管理のあり方を検討していきます。

○ 次代につなぐインフラ強靭化

将来に過度な負担を強いることなく、効率的に運用していくことを前提に最大限のインフラ強靭化に努めます。

○ 道路交通などの既存インフラの維持

道路や水道など生活に必要不可欠な既存インフラの維持・メンテナンスを推進し、サービス等が中断されることのないよう努めます。

○町有資産の利活用を推進

町有資産を休眠させることなく、効果的に活用していくための環境整備とあわせ、地域や事業者からの提案を受け付けます。

自分たちにもできることを考えてみよう!



目標・指標	現状値	目標値
① 歩道・信号等への満足度	19.5%	30%

09

くらしを守る

II. 山と川、生物多様性を保全し、安定した水源を確保

豊富な地下水・水資源を引き続き確保し、将来にわたり安定した供給が行われるよう水源地となる森林環境等保全の必要性を広く周知するとともに、特別天然記念物オオサンショウウオに代表される生物多様性の保全にも取り組みます。

○ 上下水道施設の管理・整備の推進

上下水道の効率的な運用と適切な管理により、長期的に安定した水の供給に努めます。

○ 水源地保全等に関する広報

安心して使用できる水の確保のための水源地の保全・管理についての重要性を広報活動を通じて周知ていきます。

○ 水源確保・施設機能の強化

水源地の確保・整備と施設機能の強化により、有収率の向上に努めます。

○ 山・川の調査等による自然環境の維持

山や川の生き物調査等に取り組むことで、守るべき自然環境の現状を整理し、今後の活用に向けた基盤とします。



目標・指標	現状値	目標値
① 汚水処理人口普及率	92.7%	95%
② 有収率	70.2%	80%
③ 空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	82.2%	85%

自分たちにもできることを考えてみよう!

戦略的
重点
プロジェクト

関連コラム掲載スペース

III. 町民の生命と財産を守る—災害・獣害を防ぐ地域の備え

町民の生命と財産を守るために、防災対策・治水対策に引き続き取り組み、農林水産業における鳥獣被害の防止、生産意欲の維持・向上のための取り組みを推進します。

○森づくり等を通じた防災・減災の推進

気候変動等に伴う線状降水帯の発生など局地的な災害リスクの高まりが懸念されています。生命と財産を守るために、防災に関する施設整備・点検等に取り組み、現状の山林における適切な間伐、広葉樹の植林や混交林化を推進し、豪雨災害等の予防に努めます。

○自主防災組織の活動支援、防災知識を持った人材育成

関係機関と連携しながら、自主防災組織の活動支援のための取り組み、地域の中での防災士資格取得、人材育成等を推進します。

○暮らしや生業を鳥獣から守る取り組みの推進

近年の鳥獣等による被害は農業への影響のみならず、人的な被害にもつながり、地域での暮らしをおびやかしています。生涯現役で農林水産業に従事できるように、また子どもたちが安心して登下校できるように、被害防止と鳥獣害に強い地域づくりに取り組みます。



自分たちにもできることを考えてみよう!

目標・指標	現状値	目標値
① 防災対策がしっかりとっていると感じる	21.8%	50%

IV. 誰もが利用しやすい超高速通信インフラの展開

中山間地域に属する邑南町のような場所でこそ、テクノロジーの活用は不可欠であると考え、情報通信施設の維持やセキュリティの確保等、情報インフラの整備を推進します。

○ 情報通信施設の維持、機器の更新

町内の通信基盤である「おおなんケーブル」の施設維持や機器の更新、セキュリティの確保などに取り組み、安心してインターネットを利用できる環境を整えます。

○ニーズに対応したインターネット環境の整備推進

情報通信コンテンツのデータ流通量が増大していく中、生活や業務でのインターネットサービス利用に支障をきたすことのないよう、超高速インターネット環境整備の検討を行っていきます。

自分たちにもできることを考えてみよう!



目標・指標	現状値	目標値
① 仕事や日常生活でデジタルサービスを利用しやすいと感じる	17.5%	35%
② 超高速インターネット環境の整備	—	提供開始

09

くらしを守る

V. スマート化による効率的な地籍調査

毎年進めている地籍調査については引き続き年間進捗率を維持し、調査の高度化・スマート化にも取り組んでいきます。

○ 地籍調査の実施

調査の高度化による地形データの収集・整理リモートセンシング等を活用し、鉄穴流しの歴史等について地形データ等を整理して活用につなげます。



自分たちにもできることを考えてみよう!

目標・指標	現状値	目標値
① 地籍調査進捗率 (年間)	1%	1%

VI. 住まいづくりと空き家活用で移住・定住支援

既に邑南町にお住まいの方も含め、Uターン、Iターン移住を検討されている方などを対象に町内の住宅や宅地の確保などの定住支援に取り組みます。

○ 移住希望者が暮らしを体感できるプログラムの提供

邑南町への移住を検討されている方向けに「移住体験プログラム」を提供し、移住後の暮らしの具体的なイメージが持てていだくことで、ミスマッチ等を防ぎ、その後の定住促進につなげます。

○ 空き家対策等の推進による社会増

空き家等の活用・流動化を促進し、移住・定住促進と合わせた利活用を推進します。

○ 危険空き家の除却等による地域の安心づくり

人家に近い危険空家等の除却に向けた取り組みを推進します。



目標	現状値	目標値
① 住宅相談センターにおける相談件数		
② 適度な費用で住居を確保できる	28.7%	40%

自分たちにもできることを考えてみよう!

10

つながりを深める

多文化共生・持続的なコミュニティづくりで地域で暮らし続けられる環境を創出する

多様なつながりが生み出す信頼が循環する町

地域の中でのつながりは、この町で生活する上での基盤であり、活力の源です。

そのつながりを深めるため7つのテーマで取り組みます。



10

つながりを深める

I. 多様な力を結集した地域コミュニティの育成

これまでの「夢づくりプラン」、「地域コミュニティ再生プロジェクト」、「地区別戦略事業」など邑南町ならではの地域自治の取り組みを次のステップである「地域運営組織」形成につなげるため、設立支援や情報発信、交流の場づくりを行っていきます。

○ 「地域運営組織」形成および運営支援

「地域運営組織」形成を支援し、自治会や地区単位で設置されている組織の統合など、新しい時代の地域運営を担う基盤づくりを推進し、様々な意見を地域運営に反映できる仕組みづくりに取り組みます。

○ 地域マネージャーの配置と育成の支援

「地域運営組織」の認定を受けた地区には、引き続き地域マネージャーの配置を可能とし、安心して地域運営に取り組める環境整備を進めるとともに、研修等を通じた地域マネージャーのスキルアップを支援します。

○ ふるさと納税(寄付)の充実

ふるさと納税(寄附)等に「地区を応援する」メニューを盛り込むことで、地区ごとの努力次第で活動資金等が得られる仕組みづくりに取り組みます。

○ 「住民会議」等の交流の場づくりを推進

町民との新たなパートナーシップのあり方のひとつとして、毎年のテーマごとに「住民会議(無作為選出による対面型の意見交換の場)」を開催し、町民の声を直接町政に届ける機会とします。



目標・指標	現状値	目標値
① 自分だけでなく身近な人・周りの人も楽しい気持ちでいると思う	25.3%	40%
② 暮らしている地区的雰囲気は、自分にとって心地よい	51.1%	70%
③ 地区は女性が活躍しやすい雰囲気がある	15.5%	30%
④ 地区は若者が活躍しやすい雰囲気がある	19.5%	30%

自分たちにもできることを考えてみよう!

関連コラム掲載スペース

戦略的
重点
プロジェクト

II. 地域での暮らしをあきらめない医療・福祉の推進

児童・高齢者・障がい者福祉の観点から、住み慣れた地域で暮らすことを望む誰もが、それを実現できるよう、多角的な支援に取り組みます。

○ 地域と連携した生活支援等の体制整備

「地域運営組織」の体制づくりにあわせて、地域の中でのゆるやかな見守り体制や生活の困りごとが解決できるような仕組みづくりを進めます。

○ 安心して暮らし続けるための医療福祉従事者の確保

医療福祉法人等とともに、互いに連携し、医療福祉従事者の確保、育成に向けた体制づくりに取り組みます。

○ 分かりやすい福祉情報の発信

福祉に関する様々な情報が必要とする方に行き渡るよう、より分かりやすい福祉情報の発信に努めます。

自分たちにもできることを考えてみよう!



目標・指標	現状値	目標値
① 2、3年先の暮らしの見通しが立つ	—	00%

III. 外国人も含めた多文化共生のまちづくりを推進

この町に住む誰もが「共に暮らす一員」「社会を構成する一員」であることを肯定的に感じられるよう、年齢・性別・国籍などの様々な区分を乗り越えた多文化共生社会づくりを推進します。

○ 多文化共生の推進

移住者や外国人世帯の増加などを背景に、一人ひとりの権利を守りながら、多様な文化や価値観を認め合い、自己決定できることを支援していきます。

○ 若者や女性にも選ばれる地域づくり

「地域運営組織」等との協働により、次の時代を担う若者や女性が望んで住みたい、働きたいと思ってもらえるような地域づくりに取り組みます。

○ 多様な人材がつながり、活躍できる環境の実現

移住者や外国人世帯の増加を踏まえ、町民一人ひとりが尊重され、特性・個性に応じた社会参加ができるような共生社会の実現に取り組みます。

自分たちにもできることを考えてみよう!



目標・指標	現状値	目標値
① 住んでいる地区に愛着を感じる	49.4%	60%
② どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	18.3%	30%
③ 同じ町内に住む人たちを信頼している	52.9%	70%

IV. 使いやすい交通手段・移動支援の仕組みづくり

既存の公共交通体系に加え、民間事業者や地域との連携強化により、町民の移動ニーズに対応し、物流危機に対しての支援のあり方なども検討を進めます。

○ 官民協働による小さな拠点・交通結節点の整備

12地区単位での移動手段の確保とあわせて、地区間の連携が円滑に進むよう支援を行っていくとともに、交通結節点の整備など公共機能の充実を図っていきます。

○ 持続可能な生活交通システムづくり

町営バス等の公共交通機関だけでなく、民間事業者とも連携を図りながら、町全体の交通・移動が誰にとっても担保される環境づくりを推進します。

○ 移動支援・交通支援の仕組みづくり

通勤・通学以外の地域における移動ニーズは、主に通院や買い物ですが、こうした生活に不可欠な移動に関する支援の検討を進め、新たな仕組みづくりに取り組みます。

自分たちにもできることを考えてみよう!



目標・指標	現状値	目標値
① 日常の買い物に不便がない	25.3%	40%
② ネット通販、業務上の郵送等物流に不便がない	-	00%
③ 買い物・通院等で必要な移動が問題なくできる	6.9%	30%

V. 災害からしなやかに立ち上がる防災体制づくり

邑南町ならではの「地域とのつながり」が、いざというときの「助け合い」の力になります。日常的な互助・共助の充実を図るとともに、災害が生じても、しなやかに立ち直るためのレジリエンス（災害発生時や復旧時の迅速かつ柔軟な対応）の強化を推進します。

○ 災害対応体制の構築・拡充

災害を想定し、社会福祉協議会等の関係機関との連携体制について定期的な確認を行い、災害発生時や復旧時に迅速かつ柔軟な対応を行うための基盤構築に努めます。

○ 防災DXの推進

緊急時に被害状況等の情報共有が滞りなく行えるよう、防災面からのDXを推進します。

○ 自治体間の広域連携の推進

豪雨災害や南海トラフ巨大地震等の広域災害においては、自治体間の連携が復興の観点からも重要であり、国・県および近隣自治体等とも連携をとりながら、自治体間の広域連携の推進に努めていきます。



自分たちにもできることを考えてみよう!

目標・指標	現状値	目標値
① 防災対策がしっかりしている	21.8%	50%
② 集落や地区の人々が困っていたら手助けする	55.8%	70%

VI. 環境衛生の推進と循環型社会の実現

循環型社会の実現に向けて、邑南町では3Rの取り組みをはじめ、「いわみ温泉 霧の湯」の薪ボイラーや太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用を推進しています。

○ゴミの削減等による環境負荷低減の取り組み

3Rの活動のうち、特にリデュース＝ごみの削減、リユース＝再利用に重点を置き、ゴミの排出量削減による環境負荷低減の取り組みを推進してます。

○ 再生可能エネルギーの活用を推進

自然環境の保全や景観に配慮しながら、木質バイオマスや太陽光発電などの再生可能エネルギーの利用促進・啓発に努めます。また、その他の再生可能エネルギーの導入についての調査・研究を進めます。

3R(スリーアール)とは...「Reduce=ごみを減らす、Reuse=繰り返し使う、Recycle=資源として再生する」の3つの活動により環境負荷を抑える取り組みを指します。



目標・指標	現状値	目標値
① 一般廃棄物の排出量	2,502 t	2,310 t
② リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取り組みが盛んである	16%	30%

自分たちにもできることを考えてみよう!

VII. DXの推進による利便性の高いまちづくり

デジタル技術の活用により地理的制約を解消し、邑南町の豊かな自然環境と仕事を両立できる基盤を整備します。また、様々な場面での業務効率化につなげていきます。

○全町的なDX推進による業務の効率化

全町的なDX推進による各種行政サービスのオンライン化や教育支援の充実、災害時対応の迅速化などを念頭に、データの蓄積・共有・分析等を横断的に行うための環境整備について検討を進めます。

○AI等のデジタル新技術の活用

様々な分野で担い手不足が深刻となっている本町においては、安定的なサービスの維持と利便性の向上、更なる業務の効率化に向け、AI等のデジタル新技術の活用を推進していきます。

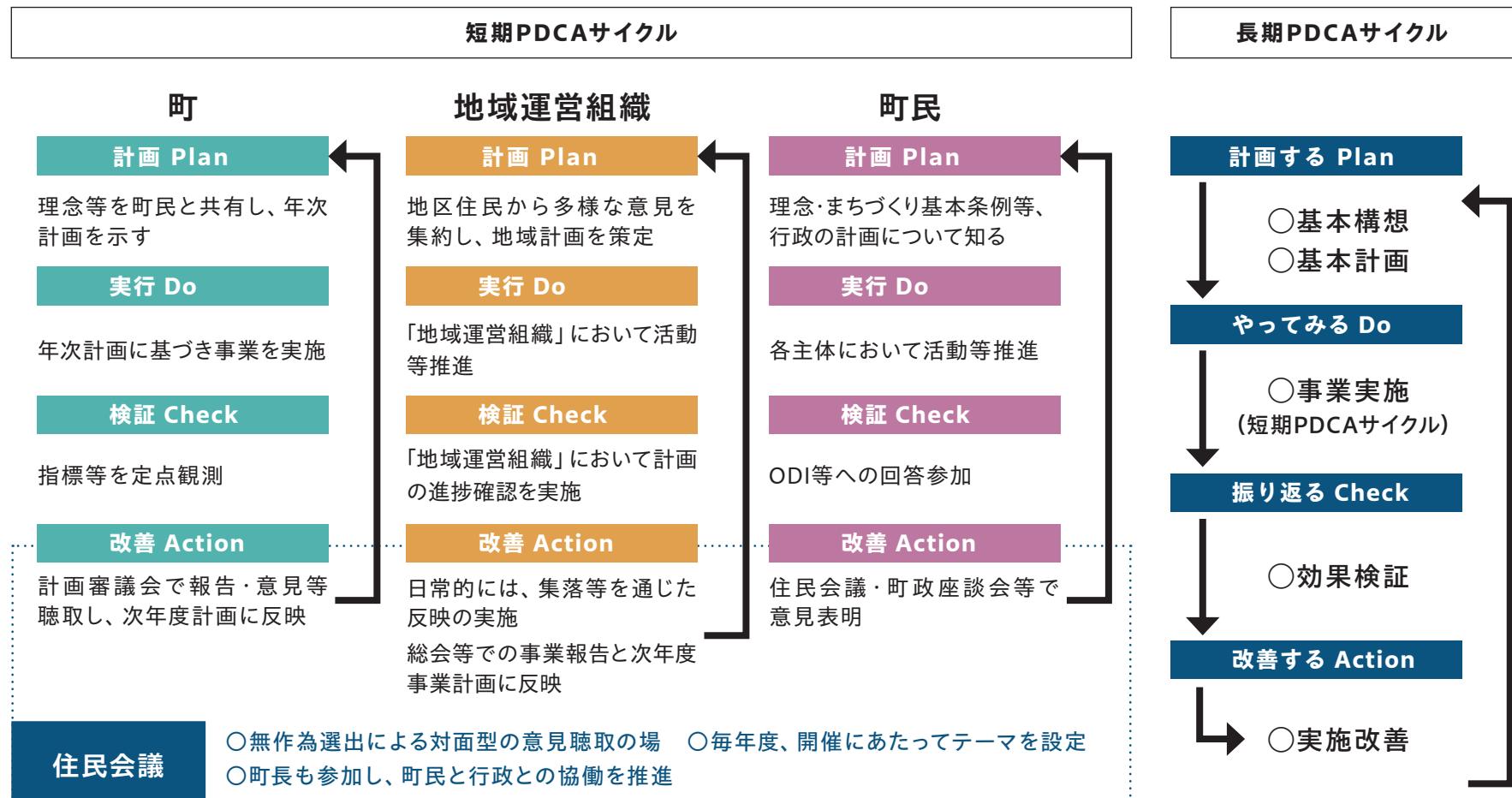
自分たちにもできることを考えてみよう!



目標・指標	現状値	目標値
① 行政サービスのデジタル化が進んでいる	17.2%	30%

町と町民が協働で進める邑南町のまちづくり

短期（1年単位）と長期（5～10年単位）でのPDCAサイクルを回して、より効果的な施策・事業展開ができるように体制を整備し、理念である「地域とつながり、挑戦を育む町」の実現を目指します。



ODI (おおなん活力インデックス) とは...総合振興計画で掲げる施策等による効果を測定するための指標で、アンケート調査を通じて町民目線で評価する手法を取り入れました。

町の役割

① 「旗」を立て、町民と協働で推進する

- 旗（町として目指したい方向性）を町民に丁寧に説明する
- 多様なかたちで地域や各種団体等の活動を支援する
- 地域自治に関しては「地域運営組織」に具体的な方法論を委任する

② 町民本意で事業を評価し、結果を庁内で共有する

- WEBアンケート調査「おおなん活力インデックス（略称：ODI）」を毎年実施する
- 幸福度、満足度などの結果を庁内各課や関連団体等と共有し、成果と課題を共有する
- 改善に向けた検討を行う

③ 「住民会議」等で一人ひとりの思いを聞く

- 無作為選出による対面型で思いを聞く機会をつくる
- 結果は広く共有し、参加したくなるように充実させる

④ 審議会を通じて振興計画全体の進捗評価する

- 「住民会議」やWEBアンケートの調査結果を審議会に報告する
- 審議会で得た意見等を庁内各課で協議し、進捗評価と改善につながる仕組みを構築する

地域運営組織の役割

① 多様な声を集約し、地域としての運営計画を策定

- 町が示す方向性（旗）を踏まえて、地域としての方向性を検討・提示する
- 行政等が開催する研修会・講演会等へ積極的に参加する

② 運営計画に基づき活動・事業を推進

- 各地区のおかれた環境、資源（ひと・もの・こと）等を踏まえて取り組みを実践する
- 成果や課題を報告会等で町と共有する

③ 「地域運営組織」内で運営計画の進捗を確認

- 計画に対して、どのような効果と課題が得られたかを検証し、地域内で共有する
- 地区内向けの情報発信によって取組状況を周知・共有する

④ 総会等による定期的な計画の見直しと改善

- 集落等を通じて意見等を集約する
- 総会等での事業報告・次年度計画等に反映させる

町民の役割

① 町の方針を知る、学ぶ

- 町が示す方向性（旗）について、「自分ごと」として向き合う姿勢を持つ
- 行政等が開催する研修会・講演会等へ積極的に参加する

② 町と協働し、地域とつながる

- 町が示す方向性、それぞれの環境・状況等を踏まえて取り組みを実践する
- 成果や課題を町と共有する

③ 一人ひとりが挑戦する

- 大人は挑戦する生々とした姿を子どもたちに見せ、応援する
- 子どもは何かひとつでも自分なりの挑戦に取り組む

④ 効果検証・評価の仕組みに参加する

- 住民会議（無作為選出）へ積極的に参加する
- WEBアンケート調査（おおなん活力インデックス）への回答に参加する

施策ごとのKGIへの寄与

柱	取組の方針	具体的な施策	出生増	移住増	流出減	婚姻率	出生率	暮らしやすさ	健康	所得・しごと
ひとを育てる	I. 地域社会で共に育てる 「子育ち環境」の向上	妊娠期からの切れ目のない支援体制の充実 愛着形成の促進と豊かな遊びと体験機会の充実 幼児期の教育・保育の充実	●	●		●	●	●		
	II. 幼少期からの健康づくりで 心も身体も大事にケア	総合的な食育の推進 生涯を通じた健康施策の推進 スポーツを通じた健康増進の取り組みを推進		●		●	●	●	●	
	III. 学校・家庭・地域が一体となった 「おおなん学」の推進*	「おおなん学」の確立・推進 子どものロールモデル・マッチング 子どもが安心して過ごせる環境づくり 町の自然・文化の研究と発信		●				●	●	
	IV. 邑南町の教育にあった 学校の在り方の研究・実現	矢上高校・石見養護学校の魅力化推進 個別最適な学びと協働的な学びの一体化の充実 多様な学びの選択肢の確保・充実	●	●	●		●	●		
	V. 地域での活躍を後押し —邑南町の未来を描く学び	地域におけるデジタル人材の育成・確保の推進 各種コーディネーターのネットワークづくり 町内外の人材還流促進		●	●			●		●
	VI. 公民館エリアの地域資源を 活かした教育の充実	公民館等を生かした社会教育の充実 人権・同和教育の啓発・推進						●	●	
しごとを伸ばす	I. テクノロジーを活用した 持続可能な農林水産業*	農林水産業のスマート化を推進 高収益作物の導入 担い手の確保・育成 地域での農地維持のあり方検討と圃場等整備		●	●					●
	II. 豊富な森林資源の有効活用と 循環型林業の確立	森林の集約化による森林整備の推進 町内産木材利用の促進 企業・町民・行政の三者連携による林業DXの推進		●	●					●
	III. 起業・第二創業等の町内事業者の 挑戦を支援	「おおなん相談所」を中心とした事業者支援 地域内での経済循環の拡大 起業・創業しやすい環境整備支援	●							●
	IV. 道の駅や農産物直売所を起点に 観光による経済波及	観光情報の多言語対応推進による満足度向上 観光コンテンツの開発 観光DXの推進			●			●		●
	V. 邑南町の新たなイメージ戦略と その活用	「神紅」の产地化とブランド力の向上 邑南町への多様な関わりしろの充実 おおなんブランドで新たな産業の創出		●						●
	VI. 邑南町の自然を守り・活かす —環境産業の推進	森林資源の付加価値化 エネルギーの地産地消による経済基盤の確立		●				●		●
	VI. 多様な働き方ニーズを満たし、 働くひとを応援	多様な人材の確保 女性や子育て世代が活躍できる環境づくりを推進 進出企業会との連携強化・企業誘致		●	●			●	●	●
VII. 事業承継・組織連携・人材確保を 通じた事業継続支援	事業継続に向けた人材確保 異業種連携コーディネート機能の強化		●	●	●		●	●	●	●
	農林水産業の後継者確保・育成支援									●

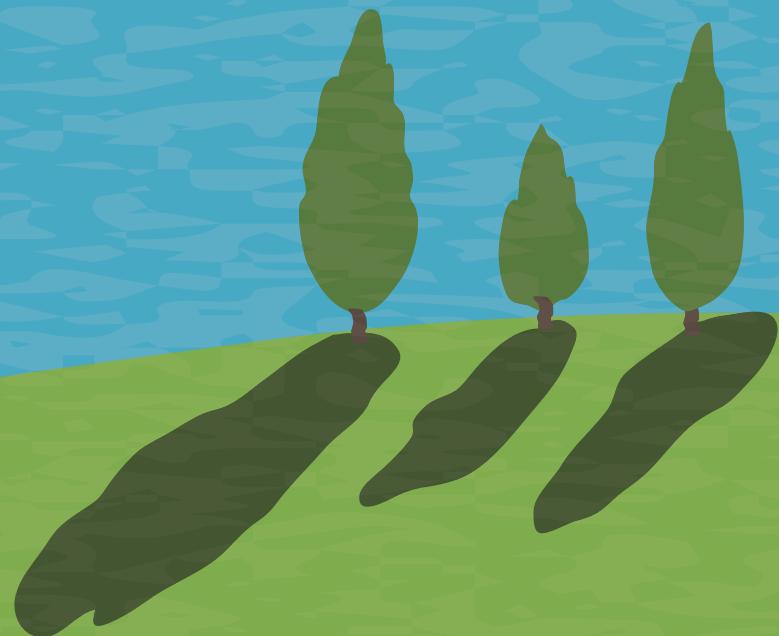
*=戦略的重點プロジェクト

柱	取組の方針	具体的な施策	出生増	移住増	流出減	婚姻率	出生率	暮らしやすさ	健康	所得・しごと
くらしを守る	I. 道路網維持と施設の長寿命化でインフラを次代に継承	次代につなぐインフラ強靭化 道路交通などの既存インフラの維持 町有資産の利活用を推進						●		
	II. 山と川、生物多様性を保全し、安定した水源を確保*	上下水道施設の管理・整備の推進 水源確保・施設機能の強化 水源地保全等に関する広報 山・川の調査等による自然環境の維持		●	●			●	●	
	III. 町民の生命と財産を守る －災害・獣害を防ぐ地域の備え	森づくり等を通じた防災・減災の推進 自主防災組織の活動支援、防災知識を持った人材育成 暮らしや生業を鳥獣から守る取り組みの推進						●		●
	IV. 誰もが利用しやすい 超高速通信インフラの展開	情報通信施設の維持、機器の更新 ニーズに対応したインターネット環境の整備推進	●					●	●	●
	V. スマート化による効率的な地籍調査	地籍調査の実施							●	●
	VI. 住まいづくりと空き家活用で 移住・定住支援	移住希望者が暮らしを体感できるプログラムの提供 空き家対策等の推進による社会増 危険空き家の除却等による地域の安心づくり	●	●		●		●	●	●
つなぎを深める	I. 多様な力を結集した 地域コミュニティの育成*	「地域運営組織」形成および運営支援 地域マネージャーの配置と育成の支援 ふるさと納税(寄付)の充実 「住民会議」等の交流の場づくりを推進						●		●
	II. 地域での暮らしをあきらめない 医療・福祉の推進	地域と連携した生活支援等の体制整備 安心して暮らし続けるための医療福祉従事者の確保 分かりやすい福祉情報の発信		●				●	●	●
	III. 外国人も含めた 多文化共生のまちづくりを推進	多文化共生の推進 若者や女性にも選ばれる地域づくり 多様な人材がつながり、活躍できる環境の実現	●	●	●	●	●	●	●	●
	IV. 使いやすい交通手段・移動支援の 仕組みづくり	官民協働による小さな拠点・交通結節点の整備 持続可能な生活交通システムづくり 移動支援・交通支援の仕組みづくり		●	●	●	●	●	●	●
	V. 災害からしなやかに立ち上がる 防災体制づくり	災害対応体制の構築・拡充 防災DXの推進 自治体間の広域連携の推進						●	●	
	VI. 環境衛生の推進と 循環型社会の実現	ゴミの削減等による環境負荷低減の取り組み 再生可能エネルギーの活用を推進		●				●	●	●
	VII. DXの推進による 利便性の高いまちづくり	全町的なDX推進による業務の効率化 AI等のデジタル新技術の活用	●	●				●	●	●

* = 戦略的重點プロジェクト

要素	出生数 (+)	移住者数 (+)	流出抑制 (+)	婚姻率	出生率	暮らしやすさ	健康	所得・しごと
KGI	①総人口:8,000人			②15歳未満人口比率:9.3% (744人)		③町民の幸福度:100% (現在値:90.1%)		

○令和7年度に実施したアンケート調査の「現在、あなたはどの程度幸せですか?」という問い合わせに対して、0点から10点までの点数で回答をいただきました。この問い合わせに対する回答から、幸福度を「0~4」点=「低位層」、「5~7」点=「中位層」、「8~10」点=「高位層」と定義し、中位層(46.5) +高位層(43.6)の割合90.1%を算出。幸福度が低い状態の方の割合を低減し、幸福度が高い割合を増加させていくことを目標としました。



 邑南町